

地方創生加速化交付金
重要業績評価指標（KPI） 効果検証

事業1：小さな拠点づくり推進事業（基本目標4関連事業）

KPI	現状値（H27）	H28 実績値	目標値（H29）	進捗状況	備考
地域人材育成塾 受講者数	0人	0人	60人		延べ人数
さくら市乗合タクシー 利用者数	499人	679人	666人		基準月の月あたり 利用者数
お試し移住スペース利 用し移住した世帯の数	—	0世帯	1世帯		年あたり




事業2：道の駅を有効活用した観光と移住連携事業（基本目標2関連事業）

KPI	現状値（H27）	H28 実績値	目標値（H31）	進捗状況	備考
道の駅きつれがわ 年間利用者数	712,035人	495,665人	1,203,054人		年あたり
喜連川中心市街地 観光スポットの設定	2か所	3か所	6か所		延べ数
移住相談件数	40件	30件	110件		年あたり
JRびゅうフォレスト 喜連川販売区画数	0区画	14区画	221区画		延べ数

事業3：スポーツを核とした地方創生推進事業（基本目標2関連事業）

KPI	現状値（H27）	H28 実績値	目標値（H31）	進捗状況	備考
観光客入込数	665,833人	729,441人	1,000,000人		年あたり

■進捗状況の評価基準について

	成果は順調で目標を達成しているもの
	成果は上がっているが目標は達成していないもの
	成果が下がっているもの
—	現時点で数値の取得が出来ないもの

地方創生加速化交付金の事業内容について

◆事業1：小さな拠点づくり推進事業（基本目標4関連事業）

個別事業名	目的・実施内容
地域の資源・課題の把握・分析事業 (6,406,892円)	地域の資源や課題を把握する為、宇都宮大学と連携し、住民意向アンケートやステークホルダーヒアリング等を実施した
コミュニティカレッジ事業 (20,000円)	今後の地域での自発的活動の推進役を育成する為、地域での生活を考えるシンポジウム（生涯学習振興大会）を実施した
地域での安心な生活確保事業 (1,792,800円)	地域での安心な生活を確保する為、路線バスと乗合タクシーの乗換え拠点（待合所）整備事業を実施した
移住推進事業 (214,386円)	移住促進を図ることを目的として、移住検討者にさくら市での暮らしを実際に体験してもらう、お試し移住拠点設置事業を実施した

◆事業2：道の駅を有効活用した観光と移住連携事業（基本目標2関連事業）

個別事業名	目的・実施内容
道の駅きつれがわ有効活用事業 【観光拠点形成推進事業】 (16,984,704円)	移住したいと思わせるような市街地や道の駅などの観光施設の充実を図ることを目的として、リニューアル計画に関する支援事業、道の駅を拠点とした喜連川市街地まちづくり基本調査及び構想策定事業を実施した
道の駅きつれがわ有効活用事業 【観光客地域回遊事業】 (4,019,112円)	道の駅きつれがわりニューアルに合わせて、道の駅に留まっていた観光客を喜連川市街地に回遊させる仕組みをつくることを目的として、喜連川中心市街地等における起業家研修会及び講演会、賑わいのまちづくり事業（笹屋別邸利活用プロジェクト、モルタルアートまちづくり）、観光ボランティア整備事業、アシスト付電動自転車購入事業を実施した
シティプロモーション事業 (1,663,580円)	様々なさくら市の魅力を発信し、市への交流・移住による人口増加を図ることを目的として、JR東日本首都圏路線中吊り等広告事業、移住促進アドバイザー事業、ふるさと回帰フェア等のイベント出展、移住促進ホームページ充実のための動画作成・システム改修事業を実施した
びゅうフォレスト販売促進支援事業 (26,298,000円)	首都圏からの移住コミュニティとなっている住宅地（びゅうフォレスト喜連川）への移住促進を図ることを目的として、同住宅地内の老朽化した道路・公園等の公共施設の再整備（街路樹植替業務、道路補修工事、グリーンベルト樹木伐採・剪定、歩行者専用道路・公園整備工事）を実施した

◆事業3：スポーツを核とした地方創生推進事業（基本目標2関連事業）

個別事業名	目的・実施内容
ツール・ド・とちぎの開催準備に係る負担金 (800,000円)	イベント実施による観光客及び交流人口の増加を目的として、栃木県が主体で実施する自転車イベントである「ツール・ド・とちぎ」の開催準備に係る費用を一部負担した